

平成27年度

目黒区総合教育会議
第4回会議録

(平成28年2月16日開催)

第4回 目黒区総合教育会議会議録

- 1 開催日時 平成28年2月16日(火)
午前9時30分から午前10時23分
- 2 開催場所 教育委員会室
- 3 出席者 目黒区長 青木英二
目黒区教育委員会委員長 小村恵子
目黒区教育委員会委員 笹尾敦夫
目黒区教育委員会委員 中山ひとみ
目黒区教育委員会委員 木村肇
目黒区教育委員会教育長 尾崎富雄
- 4 説明者 教育次長 関根義孝
政策企画課長 秋丸俊彦
教育政策課長 山野井司
- 5 傍聴者 2名
- 6 議題
(1) 目黒区教育に関する大綱案について(案)
(2) その他
- 7 情報提供
(1) 平成28年度教育行政運営方針(案)について
- 8 会議の結果及び主要な発言
別紙のとおり

<会議の結果及び主要な発言>

1 開 会

2 区長あいさつ

3 議 題

(1) 目黒区教育に関する大綱案について (案)

(会議の結果)

「目黒区教育に関する大綱案について (案)」の方向で進めることとし、政策決定会議で「目黒区教育に関する大綱案」を決定することとする。

(主な発言)

- ・ 「学校給食の負担軽減など保護者負担の軽減を図ること」という意見に関して、家計が悪化した世帯への対応については、生活保護対象者となる場合に就学援助支給対象とするなど、一定のケースについて対応していると検討結果に記載されているが、学校給食の負担軽減については、その対応等の記載がないのではないか。
 - 学校給食費負担は、法令上保護者が負担することになっており、就学援助の対象者に支給するので、現行制度で対応という記載をしている。
- ・ 学校評価について、実施結果を公表していると検討結果に記載されているが、各学校のホームページを見ると公表内容は取り上げ方が異なっている。ホームページの作成方法も区として指導していく必要があるのではないか。
 - ホームページの公表について、一定程度レベルを合わせる。その上で、各校独自の工夫をしていきたい。
- ・ 大綱案に「男女平等・共同参画」を追加したのは良いことである。国としても大きな課題としており、区の教育で意識を持って取り組んでほしい。
- ・ 区の野球場が少ないという意見に対して、検討結果は、人口あたりで比較すると世田谷区より整備数が上回っていると表現されているが、今後、小・中学校統廃合の際に、特養や保育所などの施設も喫緊の課題であるが、ぜひ、統廃合後のスペースをそのまま残すようにしてほしい。
 - 所管としても出来る限り、要望していきたい。
- ・ 区予算を優先して学校教育に充てるような要望があるが、区一般会計に占める教育費の割合は、年度によって異なるが、28年度予算案では、12%を超える高い数字を示している。
- ・ 「いじめの対応」については、対応として「未然防止」の表現を入れたほうが良い。
 - 検討する。
- ・ 道徳教育に点数を付けないでほしいという意見に対する検討結果で、道徳の「教科」は、「教科化」に修正した方が良い。
 - 検討する。
- ・ 大学教育等の高等教育に対する経済的支援の意見に対して国や民間企業等の奨学金制度を紹介しているので、対応区分は「6」になるのではないか。

→ 検討する。

(2) その他

(主な発言)

- ・ 特になし

4 情報提供

(1) 平成28年度教育行政運営方針(案)について

(会議の結果)

「平成28年度教育行政運営方針(案)について」情報提供を受けたこととする。

(主な発言)

- ・ P6「7 土曜日の教育活動の充実」は、具体的にどのように充実していくのか。
→ 現在、都の方針を受けて道徳地区公開講座等を週休日の振替で行っているが、一部で振替なしで行っている。子どもの負担を考えながら、土曜日の教育課程を充実していきたい。
- ・ P7「2 放射性物質等への対応」で「空間放射線量の測定や給食食材の検査を行うことで」を入れることによって、逆に放射性物質が危険だという不安感を与えることにならないか。放射能に対する正しい知識を学習することを盛り込んだ方が良い。
- ・ 学校健康トレーナーの資格はどうなっているのか。
→ 健康運動指導士を基本として、体育の専科の免許を持っている方を小学校に配置している。
- ・ P5「6 小・中連携教育の推進体制の充実」についてあり方の検討で止まってしまうのではないか。具体的に推進体制の充実ということであれば、それがわかるような表現となると良い。

5 閉 会

教育に関する大綱については、議会等に報告ののち3月に決定することとし、引続き区長部局と教育委員会が連携して取り組むこととし、目黒区長から閉会宣言。

以 上